

# 武雄高校だより

質実剛健・報恩感謝

TAKE OFF ～Takeo Future Frontier～

令和 6年 12月17日発行 第246号

発行者 佐賀県立武雄高等学校

TEL : 0954-22-3103

FAX : 0954-20-1010

URL : <https://www.education.saga.jp/hp/takeokoukou>



## ● まちづくり参画事業 ●

11月16日(土)、17日(日)に開催された武雄物産まつりに、まちづくり参画事業をおこなっているチームの中の1チームが参加しました。

きゅうりプロジェクトチームは、きゅうり農家様から提供していただいた武雄産きゅうりとレシピを配布しました。この企画は、武雄温泉と武雄市の特産品を掛け合わせた活動をしたいという思いから始まりました。武雄市役所農林課にヒアリングをした結果、武雄市がきゅうりを推していることを知り、地元の人に武雄産きゅうりの魅力を直接伝えたいと考え、実現にいたりしました。



## ● 育ちあい講座 ●

12月4日(水)～12月17日(火)のうちの6日間で、1年生の家庭基礎の授業で『育ちあい講座』がおこなわれました。この講座は、園児と中高生の交流や地域でののかかわりを通して「主体的で、対話的で深い学び」(アクティブラーニング)をおこなうことを目指した武雄市の事業です。

生徒は園児の到着を心待ちにしており、手作りおもちゃ等を使って園児たちと遊び、楽しい時間を過ごしました。実際にふれあうことで幼児への理解を深め、今後の自分の生活や家族との関りについても考えるいい機会になったと思います。



## ● 国際交流 ●

12月5日(木)・12月12日(木)に、オランダのライナールトカレッジの学生とのオンライン交流会がおこなわれました。この交流会は令和3年度に始まり、今年で4年目となります。1, 2年生の参加希望者20名がZoomを使って、5日はオランダの学生と英語でクイズを出しあったり、社会問題について意見交換をしたりしました。12日は社会問題についての意見交換をさらに深め、話し合ったことをポスターにまとめました。そして、お互いに出来上がったポスターを見せながら、話し合いの内容を共有しました。

自分の考えを伝えるため、調べたり身振りを交えたりしながら楽しそうに会話をしていました。言いたいことを理解してもらえると「伝わった!」と喜ぶ姿も見られ、充実した交流ができたようです。



裏面もあります

## ● DI 人材育成事業 ●

12月8日（日）に、佐賀県高校生 DI 選手権大会がおこなわれ、DI 人材育成事業に参加している1年生10名が参加しました。これまでの練習の成果を発揮し、熱い戦いを繰り広げました。

＜主な結果＞ ※詳細はHPの“学校生活のひとコマ”へ

AI コンテスト部門 団体 第2位

回路設計部門 個人 第2位 正司 浩大

プログラミング部門 個人 第2位 前田 康希



## ● 校内ビブリオバトル チャンプ本決定！ ●

12月4日（水）に、校内ビブリオバトルの全体投票がおこなわれました。各学年代表から投票で選ばれた4名（1，2年生2名ずつ）のプレゼン動画を視聴し、最も読みたくなった本に1票を投じました。

＜結果＞

第1位『同性同名』（下村敦史 著）

第2位『横道世之介』（吉田修一 著）

第3位『タスキメシ』（額賀滯 著）



## ● クラスマッチ ●

12月6日（金）に1，2年生の2学期クラスマッチがおこなわれ、学年別に、男子はサッカー、女子はドッジビーで競いました。どのチームも優勝を目指し、寒さを吹き飛ばすくらい熱気溢れる試合を繰り広げていました。自分のクラスのチームがプレーしているときは男女問わず応援する姿が多く見られました。ドッジビーはドッジボールのボールの代わりにビー（柔らかいフリスビーのような円盤）を使います。後半戦になるとビーが2枚になり、四方八方からビーが飛び交う状況になるため、大変盛り上がっていました。クラスマッチを通して、クラスの団結力がさらに高まったようです。

＜結果＞

|        | 優勝  | 準優勝 |
|--------|-----|-----|
| 1年（男子） | 1－1 | 1－3 |
| （女子）   | 1－2 | 1－5 |
| 2年（男子） | 2－2 | 2－5 |
| （女子）   | 2－2 | 2－1 |

